

## 堺市の考え方について

堺市大和川洪水ハザードマップ（堺市ホームページで公表）でお示しているように、大雨時に大和川の堤防が壊れたりした場合、中心市街地まで甚大な被害が及ぶことになります。

また、これまで大和川線整備に合わせて工場等の移転、盛土を既に一部の箇所で実施しており、平成20年度からは、皆様方とスーパー堤防に合わせたまちづくりに関する勉強会等を継続的に実施しております。

このような状況を踏まえ、堺市としてはスーパー堤防事業が廃止になると、大和川の治水安全性や関連する事業及びまちづくりに重大な支障が生じることから、堺市域におけるスーパー堤防事業を継続するよう、国に対し強く要望活動を行っております。

## 阪神高速道路(株)の考え方について

大和川線の堺市堺区松屋大和川通から同区遠里小野町付近の3.1km区間については、大和川線事業、スーパー堤防事業、まちづくり事業を一体的に進めてきたところであり、現時点での事業スキームの抜本的見直しは、大和川線事業に影響を及ぼすことになることから、国に対し、事業継続を強く要望しております。

## 今後の予定について

スーパー堤防の見直しに関する検討会が今年の7月頃にとりまとめを予定しており、その結果を受けて、改めてご報告いたします。

### スーパー堤防及びまちづくり（面整備）に関するご意見やご質問をお聞かせください。

スーパー堤防及びまちづくり(面整備)について、疑問や不安な点がございましたら、以下の問い合わせ先まで、ご連絡ください。

#### 【問い合わせ先】

スーパー堤防に関する問い合わせ先

国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所 大和川下流出張所

電話 072-232-3431 FAX 072-232-3441

HP <http://www.kkr.mlit.go.jp/yamato/index.php>

まちづくり（面整備）に関する問い合わせ先

堺市 建設局 大和川線推進室

電話 072-228-8435 FAX 072-228-7139

HP [http://www.city.sakai.lg.jp/city/info/\\_yamatotai/index.html](http://www.city.sakai.lg.jp/city/info/_yamatotai/index.html)

阪神高速大和川線に関する問い合わせ先

阪神高速道路(株) 建設事業本部 堺建設部 大和川線建設事務所

電話 072-226-4864 FAX 072-226-4602

HP <http://www.hanshin-exp.co.jp/drivers/index.html>

## スーパー堤防及び

## まちづくり（面整備）ニュース

## 第7号

2011年4月

堺市建設局  
大和川線推進室  
TEL 072-228-8435

本号では、3月12日から25日の間の9日間で開催しました、『大和川線地区におけるスーパー堤防事業の状況報告会』で説明しました内容、皆さまから寄せられた主な意見・質問等の紹介や、今後の予定についてお知らせします。

### 状況報告会を開催しました

スーパー堤防事業は、昨年行政刷新会議「事業仕分け」において、「現実的な天災害に備える視点に立ち入り、治水の優先順位を明確にした上で事業としては一旦廃止すること」となりましたが、その後の状況や今後の予定などについて、権利者の皆さまに情報提供が出来ていなかったことから、この度、「大和川線地区におけるスーパー堤防事業の状況報告会」を開催しました。

#### ◆ 下記の内容について報告しました

○ 状況報告と今後の予定

- ・ 平成23年度の予算執行予定について
- ・ 平成24年度以降のスーパー堤防事業の扱いについて
- ・ 事業者（堺市・阪神高速道路(株)・大阪府）からの意見

#### ◆ 総勢168名の出席がありました

土地もしくは建物の所有者を対象とした『状況報告会』では168名の出席がありました。

状況報告会開催風景（会場/出席者数）			
松屋大和川通 （三宝校区）	三宝下水処理場会議室 68名	松屋町 （三宝校区）	松屋会館 45名
遠里小野町 （錦綾校区）	遠里小野東集会所 22名	並松町、七道東町 （錦西校区）	並七第一自治会館 33名

◆ 説明した内容

・ 事業見直しについて

一旦廃止という事業仕分けの結果を受け、国土交通省では、学識経験者による「高規格堤防の見直しに関する検討会」（以下「検討会」という。）（平成23年2月～7月実施予定）を設置し、事業スキーム（仕組み）の抜本的見直しを行い、検討結果を平成24年度以降の予算に反映する予定です。また、事業スキームの抜本的な見直しを行う事から、平成23年度については、必要最低限の予算措置を行うこととなりました。

◆ 主な意見・質問とその回答

《事業見直しに関する意見・質問》

意見・質問等	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スーパー堤防事業は事業仕分けにおいて廃止と判断されたのではないのか？</li> <li>・ 大和川は天井川であり、堤防が決壊すれば被害は甚大なものになると聞いている。スーパー堤防事業は、人命・財産を守るという観点からも是非進めて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一旦廃止という事業仕分けの結果を受け、国土交通省では、事業スキームの抜本的見直しを含め、学識経験者による「検討会」で堤防整備のあり方などの検討を進めているところです。</li> <li>・ 「検討会」において7月頃迄に検討を行い、その結果を平成24年度以降の予算に反映する予定です。また、事業スキームの抜本的な見直しを行う事から、平成23年度については、三宝下水処理場の機能補償費、錦西保育所の盛土工事費などについて、必要最小限の予算措置を行うこととしました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業者が今まで説明してきたスケジュールやまちづくりの内容はどうなるのか？</li> <li>・ このままでは住民は将来の展望が描けないが、何時まで待てば良いのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「検討会」による検討結果が今年の7月頃に出る予定なので、結果がわかり次第、皆さまには早期に報告いたします。</li> <li>・ 「検討会」においてスーパー堤防事業の継続が決まれば、勉強会を開催し、事業展開、生活再建方策等についても具体的な説明をいたします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「検討会」では、地元の意見は聞いてもらえるのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 皆さまの意見を「検討会」で直接伝えて頂くことは難しいと思いますが、今回の状況報告会で頂いた意見等は、「検討会」に伝えていくように努力します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 阪高大和川線とスーパー堤防は一体整備事業であるという前提で阪高に協力しているが、スーパー堤防が廃止となれば話が違って来る。</li> <li>・ スーパー堤防が廃止となれば、大和川線と民地との境界ラインの処理が問題となる。家の前に高い擁壁など作られては困る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「検討会」の結果、仮にスーパー堤防事業が「廃止」となった場合でも、今の状態で終われるとは考えておりません。終わり方についても、皆さまとの調整が必要になると考えていますし、出来るだけご迷惑がかからないよう、検討していきたいと考えています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回の「事業仕分け」の結果を、堺市や阪神高速道路(株)はどのように受け止めているのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 堺市、阪神高速道路(株)は、共にスーパー堤防事業の継続を強く要望しています。</li> </ul>

・ スーパー堤防の必要性や安全性について

スーパー堤防の必要性や安全性について意見・質問等がありました。

《スーパー堤防の必要性や安全性に関する意見・質問》

意見・質問等	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スーパー堤防を整備しなくとも、河床を掘削すれば良いのではないのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大和川には多くの橋が架かっており、むやみに河床を掘削すれば、それらの橋脚が不安定な状態になってしまうため、河床全体を掘削することは出来ません。ただし、治水効果が高いと考えられる箇所については、限られた予算の中で最大限の効果が発揮されるよう、河床掘削を実施しています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関東で降雨によりスーパー堤防が崩れたとの新聞報道があったが、スーパー堤防は本当に安全なのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関東でスーパー堤防が降雨で崩れた件については、段階施工に伴う比較的のり勾配が急な盛土端部が崩れたものですが、堤防高さの約30倍の緩やかな勾配で整備を予定している大和川線地区においては、整備が終わればスーパー堤防盛土が降雨で崩れることはありません。</li> </ul>

・ 地震・津波の影響に対するスーパー堤防の効果等について

3月11日に発生した東日本大震災の被害状況を受け、地震・津波対策に関する意見・質問等がありました。

《地震・津波の影響に対するスーパー堤防の効果等に関する意見・質問》

意見・質問等	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スーパー堤防は、東日本大震災で発生したような津波の対策としても効果があるのか？</li> <li>・ スーパー堤防は、地震対策としての効果は期待出来るのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スーパー堤防事業は、超過洪水を対象とした治水事業であり、津波対策のための事業ではありません。</li> <li>・ スーパー堤防整備においては、必要な箇所では地盤改良を行いますので、地震や液状化に対して一定の効果が期待できます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東日本大震災の影響により、スーパー堤防事業に予算が付かないのではないのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成23年度については、必要最小限の予算を確保しています。平成24年度以降については、「検討会」で事業の継続が決まった場合も、今後の社会情勢を鑑みたと上で、スーパー堤防予算が削減され震災復興予算に回される可能性はあります。</li> </ul>

なお、本市における津波ハザードマップは、本市危機管理室のホームページ ([http://www.city.sakai.lg.jp/city/info/\\_kanribosai/ke2.pdf](http://www.city.sakai.lg.jp/city/info/_kanribosai/ke2.pdf)) でも公開しております。